

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2024 年 3 月 10 日作成 第 1.0 版

研究課題名	鏡視下腎臓手術術後患者を対象としたアプローチ経路と術後肩痛の発生頻度の関連性を検討する観察研究
研究の対象	2010 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに、横浜市立大学附属病院 泌尿器科において腹腔鏡下腎部分切除術、腹腔鏡下腎摘出術、後腹膜鏡下腎部分切除術、後腹膜鏡下腎摘出術を施行された患者さんを対象とします。ロボット支援型手術で手術を行った患者さんも対象となります。
研究の目的	腹腔鏡で行う手術は、術後に肩痛が発生することが知られていますが、後腹膜鏡の手術で術後肩痛が発生するかどうかはまだわかっていません。今回の研究は、腹腔鏡手術と後腹膜鏡手術で、術後肩痛の発生頻度が異なるかどうかを明らかにすることが目的です。
研究の方法	診療録から情報を収集して、統計解析を行います。いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2024 年 5 月 20 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2029 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2024 年 5 月 20 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の 項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別、身長、体重、併存疾患、慢性疼痛の有無、術前の鎮痛薬使用の有無、診断名、原疾患の詳細、手術日 ・手術情報：術式、手術部位、手術の詳細（気腹圧、術後ドレーンの有無） ・麻酔関連情報：ASA-PS 分類（米国麻酔科学会患者分類）、麻酔方法、使用麻酔薬、区域麻酔の有無、麻酔時間、手術時間、術後鎮痛方法、フェンタニル・レミフェンタニルなどの麻薬の術中使用量、ロクロニウム・ベクロニウムなどの筋弛緩薬の術中使用量、出血量、輸液量・輸血量 ・術後肩痛の有無
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管 理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の 管理について 責任を有する	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 麻酔科 長嶺祐介

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

者	
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。 本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究において、開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 麻酔科 （研究責任者）長嶺祐介
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 麻酔科 （研究責任者・問い合わせ担当者）長嶺祐介 電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 787 - 2931</p>	